

報道関係各位

2021年4月26日
株式会社ODKソリューションズ
(コード番号：3839 東証一部)

コロナ渦により>Contactセンターの「在宅勤務・テレワーク化」が加速 「いまさら？いまから？考える>Contactセンターのトレンド」

4月28日14時より無料ウェビナーを開催

～「在宅」でもスムーズに>Contactセンターを機能させるためには…？～

お申込 URL : https://us02web.zoom.us/webinar/register/8316190701569/WN_WmhaLLOiRDSxvXfUxiVuUA

ODKソリューションズ(本社：大阪府大阪市 代表：勝根秀和、以下ODK)は、2021年4月28日(水)14時00分～15時00分にて、無料ウェビナー【いまさら？いまから？考える>Contactセンターのトレンド ～在宅編～】を開催します。



新型コロナウイルスの影響により、様々な業界・業種でテレワークの動きが高まっており、>Contactセンターの主な業務である電話対応についても同様に需要が見込まれております。

一方で、電話対応内容の共有等を在宅でも可能にする方法について模索中である企業が多いのが現状です。

本ウェビナーでは、クラウド型のカスタマーサポートソフトウェア『Zendesk』の公式パートナーであるODKが在宅対応でも効率的に>Contactセンターを機能させる方法を、コールセンター白書のデータを交えながら基本から現在のトレンドまでを解説し紐解いていきます。

今後もODKは、ご利用いただいているお客様の声を迅速に反映し、お客様のより良い働き方のご提案を目指して機能改善・拡充を重ねていきます。

■ウェビナー概要

【いまさら？いまから？考える>Contactセンターのトレンド ～在宅編～】

日時：2021年4月28日(水)14時00分～15時00分

参加費用：無料

場所：オンライン

申込 URL : https://us02web.zoom.us/webinar/register/8316190701569/WN_WmhaLLOiRDSxvXfUxiVuUA

※Zoomにて配信予定です

※上記日時以降の録画視聴希望の方も上記URLにてご登録ください

ご不明な点は下記まで気軽にお問合せくださいませ。 sales.info@bd.odk.co.jp



データに、物語を。

【『Zendesk』とは？】

世界で13万社、日本で2,000社以上の企業様に選ばれている、クラウド型のカスタマーサポートソフトウェアです。

メールや電話、チャット、SNSなど多様なチャネルからの問い合わせを一元管理することが可能です。シンプルで洗練され、あらゆるシステムに対してオープンなZendeskは、700以上のZendesk公式アプリの利用を含め自由にシステム拡張が可能のため、導入企業様の業態を選ばずあらゆるビジネスニーズに対応した、柔軟な運用・設定が可能です。

URL: <https://zendesk-odk.jp/>

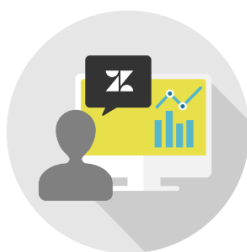
Zendeskの導入にODKが選ばれる理由

reason



ご利用サポート

「運用設計や設定作業をプロに任せたい」、「既にZendeskを利用しているが運用改善のコンサルティングをしてほしい」などお客様のご要望に合わせてご支援致します。



システム開発

Zendeskと社内システムとの接続や、様々な連携アプリケーション開発、またUIデザインの構築など、お客様の環境にあったカスタマイズを行います。



円決済・請求書発行

Zendesk社からの直接購入の場合米ドル、クレジットでの決済になります。パートナーである当社だからこそ、お客様の状況に合わせて請求書の発行や銀行振込による円決済のお手続きが可能です。

【株式会社ODKソリューションズ】

〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町一丁目6番7号

代表者 : 勝根 秀和

設立 : 1963年(昭和38年)4月1日

資本金 : 6億3,720万円(2021年3月31日現在)

Te1 : 06-6202-3700(代表)

Fax : 06-6202-0445

URL : <https://www.odk.co.jp/>

事業内容: 教育・金融・医療分野へITサービスを提供

『ビジネスを、スマートにつなぐ。人生の、ストーリーをつむぐ。』

ITの力で、すべての人の人生に喜びをもたらしたい。私たちのビジネスは、夢に向かって挑戦する人の人生を、より素晴らしい方向へとリードするソリューションでありたいと願っています。

創業から50年以上の歴史の中で積み重ねてきたデータと経験で、お客様のビジネスをスマートにつなぎ、そして、より豊かな人生のストーリーをつむいでいきます。